

調布市文化協会 調布市文化協会 調布市文化協会



調布市文化協会

調布市小島町 2-33-1 調布市文化会館たづくり6F

URL : <http://www.chofushibunkakyokai.jp>
chofu-bunkyo@bj.wakwak.com

文化協会に想うこと

このたびは、広報紙への寄稿の機会を与えてくださり誠にありがとうございます。

私は、本年3月まで教育委員会にりましたが、その間、学校教育をはじめ、公民館など社会教育との連携において、文化協会の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

併せて、本年2月に行われた文化協会創立50周年記念講演「文化技術創造による未来都市・調布へ」は、本市がどのような地域社会を目指すのか、求められる戦略とレガシーについて具体的な考え方を学ぶ機会となりました。二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた文化プログラム事業、さらには「豊かな芸術文化、スポーツ活動を育むまちづくり宣言」を実現するための取組の推進において大変参考となりました。今年度は、この宣言にかかわる啓発を図るためのロゴマークの作製を予定しており、文化協会と連携して広く市民の活動に利用されるようPRに努めてまいりたいと思います。

さて、少子高齢化、地域における絆の希薄化、貧困・格差などの課題が増大している地域社会で、地域を元氣

調布市生活文化スポーツ部長

宇津木光次郎

にする文化協会の重要性はますます高まっていくものと考えます。

既に、調布市民文化祭及び地域文化祭は「みんなであつくり市民の文化」をテーマに、市民の芸術文化及び学習活動の発表の場、文化交流とコミュニケーション醸成の場として、まさに「調布市における文化の祭典」として取り組まれております。

こうした文化協会の活動は「調布のまちを愛するためにもっと多くの人に調布の良さを知ってもらおう」、「地域の芸術文化を市民に身近なものにする」という、市民・地域・行政との協働による文化振興という観点からも大変重要です。

引き続き、市民が主体的に参加し、地域の魅力を発信していくという考え方のもと、地域の発展を支える文化行政のあり方、文化施設の役割などについて、文化協会の皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

文化協会の益々のご発展をご祈念申しあげつつ、私自身も、微力ですが、文化行政の推進を図るべく責務を果たしてまいりたいと思っております。これからも皆様のご意見をお聞かせください。

第51回定期総会開催される



2017(平成29)年度 調布市文化協会第51回定期総会

日 時 2017年4月28日(金) 18時～
 会 場 調布市文化会館たづくり12階大会議場
 出席者 87人 欠席者 3人
 委任状 14人
 議 長 山野 裕氏 (エスペラント会)

第51回定期総会が標記の通りに開催されました。

最初に加藤会長の挨拶に始まり、ご来賓を代表して長友市長及び鮎川市議会議長よりご祝辞をいただきました。

議長にエスペラント会の山野裕氏、書記に映像協会の吉田正夫氏が氏名され、議事に入りました。

第1号議案 28年度事業報告

第2号議案 28年度一般会計

決算報告及び会計監査報告がこなわれそれぞれ承認されました。

第3号議案 29年度事業計画

(案)

第4号議案 29年度一般会計予算(案)が審議され、いずれも承認されました。

第62回調布市民文化祭のご案内
開催期間10月19日(木)～11月19日(日)

今回のテーマ

「調布が奏でる文化・芸術の調べ」

開会式は10月19日(木) 6時から開催され、引き続きアトラクションが行われます。

10月21日(土) 22日(日)には例年通り、「文化祭プラザ」を開催。

囲碁や将棋の自由対局、エスペラント展、アマチュア無線の交信会。

工芸美術協会、フラワーデザイン協会による実技コーナー。ハワイアンフラ協会、三曲協会、民謡舞踊友好会、その他多彩な野外ライブが行われます。

そして、「発表部門 団体」「展示部門 団体」の発表が順次行われます。

また期間中10月28日(土)～11月5日(日)の間、東部・西部・北部の各公民館を中心とした地域文化祭も行われます。

また期間中10月28日(土)～11月5日(日)の間、東部・西部・北部の各公民館を中心とした地域文化祭も行われます。

第27回「木島平村芸術文化協会との文化交流」参加者募集

調布市文化協会と木島平村芸術文化協会との姉妹都市文化交流事業の一環として、木島平村の第33回夏祭り「盆踊り」に参加し、木島平村芸術文化協会との「交流会」を行い相互の親睦を深めるものです。

日 時 平成29年8月5日(土) 6日(日)

宿泊先 パノラマランド木島平

☎〇二六九一八二一三〇〇一

費用 一四、〇〇〇円(宿泊費、

昼食2回、交流会費、保険、

見学料等)

申込先 所属団体又は文化協会

事務所



調布市文化協会創立50周年を迎えて

文化協会役員 吉田 正夫

平成29年2月11日(土) 調布市

文化会館たづくり12階大会議場において調布市文化協会創立50周年を迎える式典が開催されました。

最初に文化協会岳野副会長の開会のことば、そして主催者の挨拶

として文化協会加藤会長が文化協会創立50周年を迎えることが出来た事に対して長年文化活動を続けられた所属団体会員皆様のご努力と、文化協会の活動にご理解とご協力を頂いた関係各位の皆様にご



礼を申されました。

続いて調布市長・長友貴樹氏、調布市議会議長・鮎川有祐氏から祝辞を頂き、来賓の紹介が続いて行われました。式典の参加者は一五六名でした。

続いて特別功労賞が3名に、感謝状が25名に贈呈され美術協会の吉井千香子氏が受賞者を代表して謝辞を述べられ、文化協会小川副会長の閉会のことばで式典は予定通り終了しました。式典終了後、独立行政法人・日本芸術文化振興会のプログラムオフィサー柴田英杞(しばたえいこ)講師による「文化芸術創造による未来都市・調布」と題した記念講演が行われました。祝賀会はヴァイオリン・ヴィオラそしてチェロによる弦楽三重奏による優雅な雰囲気の中で行われ文化協会加藤会長のお礼のことばで閉会となりました。

オリンピック・パラリンピックフラッグが調布にやってきました。

文化協会副会長 岳野 勝治

4月15日12時30分、東京2020組織委員会からオリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグが、味の素スタジアム経由で調布市文化会館「たづくり」で調布市に引き継がれました。た

づくり1階エントランスで調布市長、関係幹部の方々をはじめ多くの市民の方が見守る中歓迎セラ



モニーが行われ、オリンピックフラッグは(公財)調布市文化コミュニティ振興財団・荻本貞臣理事長が、パラリンピックフラッグは調布市文化協会・加藤弘子会長が代表して受け取りました。

今から53年前東京オリンピックが行われマラソン大会の折り返し点が調布市の甲州街道飛田給付近でと、覚えておられる方も多いことと思います。人生2度もオリンピック大会を地元で体験できるのは、大変意義深いことだと思いません。



袋井市文化協会との交流懇談会

5月28日7時30分、30名の文化協会メンバーは武州交通の大型バスに搭乗し出発。中央道、圏央道、新東名高速をひた走り、目指す袋井市文化協会のある「月見の里遊学館」に予定通り到着しました。最初の印象は大変広い敷地に立派な建物が何棟も並んでおり、「調布にもこんな建物があったらなあー」でした。



可睡斎御神殿

袋井市文化協会の事業内容は思ったより規模が大きく一般社団法人の資格を持ち会長は「月見の里遊学館」の館長もなさっており、中々よくやっておられると感じました。

昼食の後、秋葉総本殿・可睡斎（お寺）で御住職から火災予防の御利益がある秋葉神社が遷座した経緯、可睡斎の名前の理由、から始まり江戸時代のお寺の役割

等々。寺内をご案内頂き約1時間有意義な講義でした。

宿泊は、浜名湖グランドホテル。「まごなみ館」。湖畔の眺めの素晴らしいお部屋でゆつくりと、夜は皆でカラオケ等で盛り上がりました。

翌日は、ロープウェイで「オルゴール・ミュージアム」に上り二〇〇年前まだレコードの無い時代の手動のオルゴールからアンタッチャブル時代のジャズ演奏までのオルゴールの歴史。電動式に

文化協会副会長

岳野 勝治

なってもカバの（音響箱）素材によつての音の違いがあること。等々の説明を受け、毎時00分に浜名湖を一望できる屋上で奏でられるカリヨン（当日はスメタナ作曲ラムダウ）の演奏は大変感動的でした。

昼食は眺めの良い奥浜名湖国民宿舎で頂き、予定通り井伊直虎記念館、龍潭寺を拝観し、帰途も無事帰ってこられたのは、皆様方のご協力のお蔭です。



健康を守るトイレの神様



浜名湖

調布市長と語る文化懇談会

文化協会副会長

小川美代子

五月三十一日（水）十八時～十九時迄の一时间、二十三区長及び二十六市町村長会の会長に二年の任期で就任され、オリンピック・パラリンピック・調布駅前整備等々で益々ご多忙の長友貴樹市長をお招きしての懇談会を理事の方々と執り行いました。

変わりゆく調布（九月～十一月オープン）の施設にも触れ、文化都市宣言の活かし方・オリンピック・パラリンピックに文化部門参加をどのような形にするか？・樹木と駐輪スペースの問題・施設不足の要望等々、活発な意見交換が出来、あつという間の一時間でした。



第20回生涯学習講演会

文化協会役員

田代せつ子

今回の講演会は2月22日、たづくり8階「映像シアター」に於いて（テーマ）瘦せた、くびれた「チョー簡単・かかと落とし」という題で調布にお住いの成田かず子氏を講師にお迎えし開催されました。

先生は、かかとをリズムカルに上下に動かしその人の体の状態に合わせ「ポツポツポ ハトポツポ」「犬のおまわりさん」「ぞーさん」と三つの歌に合わせてスライドも使ってなぜ体に効くのかをユーモアたっぷりにお話し下さいました。

講演会の五日程前にNHKテレビ「ガッテン」でかかと落しのすばらしい効果が放映されてすぐという事で来場者の関心も高く全員での「カカト落とし」は和気あいあいと進み楽しい一時

でした。

私の感想は「人間の体って何んてすばらしいのでしょうか！一言につきました。



実 技 講 座

初心者のための将棋講座

調布市将棋連盟 今中 秀昌

今年プロの将棋界でも中学生棋士が誕生し二十連勝(6/3現在)の大会に乗せ連勝記録の二十八連勝に届く勢があり、一方では一流の棋士である名人がコンピュータソフト(ポナンザ)に二連敗することがあり新聞テレビ、週刊誌でニュースとして



取り上げられ将棋に関する話題を多く提供しています。

その様な状況の中5月13日20日27日の三日間文化協会主催の実技講座「初心者のための将棋講座」を実施致しました。市報に告知が出ると数日で応募者が30名近くとなり例年の約一・五倍を数えることとなりました。

応募者の中には小学低学年の親子が8組もあり関心の高さを感じました。講座の中では子供さんより親御さんが熱心に耳を傾けて居られました。しかし乍ら残念な事に中村九段の指導対局があるため一番盛り上がる最終日27日が学校の運動会に当りほとんどの親子が欠席となってしまいました。来年からはそれ等も考慮して日程が組めればと考えて居ります。

囲碁入門講座

調布市囲碁連盟 菊池 忠浩

囲碁入門講座は久しぶりででしたが二回で十八名の参加が得られました。

若者と女性が多く高齢の方と十名の募集に十名ピッタリ、二回目八名は半分メンバーが入れ変わりました。

いつもの事ですが、参加される



方の棋力測定が難しく、朝九時ピッタリに始めて、まず石を持った事の有無を伺います。

ほとんどの方が、経験者で、入門の方は一人でした。入門パンフを配布して、入門の方を中心に話をします。

指導員は四名で、入門の方はマントーマン、残りは二面打ち三面打ちで対局します。

大盤(磁石盤)で私の打つ通りに碁盤に置いて頂きます。石を置くスピードでおおよその棋力が判ります。

参加者同志での対局をお願いして、十二時まで、フル三時間熱心に囲碁を学びました。

参加者の希望は、つづけて囲碁の出来るサークルを教えてもらおう事でした。それぞれの棋力に合わせてお伝えした所、早速加入していただきました。

実 技 講 座

初めてのマジック

調布市奇術協会 岳野 勝治

6月10日・17日夜間の講座でしたが、13名の方々に参加頂き、手伝いの会員を含め約20名での講座となりました。参加の動機は「老人会で見せて上げたい」「職場での隠し芸に」「孫に見せたい」等々意欲は充分でした。



定刻となり講座実施の主旨とマジック演技の3原則を説明した後

今回の講座で学ぶ演技の一通りを見ていただきました。

その模範演技に「果して自分が出来るのだろうか」参加者の顔は不安と緊張の固りでした。

始めは「むずかしい」「わからない」のお声が多かったのですが補助者のマンツーマンの助けで次々とマスターし、だんだんと緊張が取れて笑顔になってきました。2日目には皆さん和やかに、隣同士、グループごとで互に教え合い、自信がついたのでしょうか、競って前に出て演技をされておりました。

今回2組の御夫婦が参加され、又前回もこの講座に参加された方々もおられ「是非次回も参加したいので知らせて欲しい」とのお声がありました。

花と遊ぶ

調布市いけばな連盟 関根 昌子

緑美しい季節の中で、雨にうたれて咲く紫陽花が目にとまりました。

「いけばな」は四季折々の特徴を持った花に、少し手を加えることにより花や葉に美しい空間をつくりあげます。

2日間の「花と遊ぶ」の講座は、流派の基本を学びつつ独自の個性を生かしながら素晴らしい活け込みができました。

同じ花材を手にした参加者が、一人一人全く違った形になることにも感動されていました。又、花材名にも興味をもたれ、今回使用した丹頂アリアム、イタリアンルスカスなど馴染みのない花や葉にハサミをいれていました。

日頃経験のできない静かで清々しい時間を満喫されていたようです。「花が好きになりました。又機会がありましたら参加したいで



29年度後半実技講座実施予定

「南部菱刺し初心者講習会」

工芸美術協会

6月12日(月)・7月3日(日)

時間 13時～16時30分

会場 301会議室

「皆で楽しく踊りましょう」

民謡舞踊友好会

10月3日(火)・10月10日(火)

時間 10時～12時

会場 和室「百日紅」・「花水木」

「カラオケ実技講座初級中級」

歌謡同好会連盟

7月1日(土)・7月8日(土)

時間 13時～16時

会場 第1・第2音楽室

「初心者のための詩吟講座」

吟剣詩舞道連盟

10月7日(土)・14日(土)・21日(土)

時間 13時30分～16時

会場 305会議室

「男女年齢層も幅広く健康作り」

ハワイアンフラ協会

9月30日(土)

時間 13時～15時

会場 研修室

「水彩画基礎講座」

美術協会

平成30年3月8日(木)・15日(木)

時間 13時30分～16時30分

会場 1001学習室

調布よさこい2017

*平成29年8月27日(日)

「民謡舞踊友好会参加」

*流し踊り

旧甲州街道／調布～布田間

*定点踊り

布多天神社

*ハッピーまつり会場

*出店

蓮慶寺前参道会場

ハッピーまつり会場布多天神

会場・調布駅南口広場

*文化協会は模擬店の「かき氷」

一杯二百円

蓮慶寺前参道会場で実施



編集後記



市民文化祭の開会式で挨拶された来賓の方のお話の中で「私は文化の事はよく解りませんが、私は文化と聞くと戦後人々の生活に必要であった文化鍋と文化包丁を思い出します。人は文化が無くても生きて行くことが出来ますが、人は文化によって人間らしく豊かに生きて行くことが出来ます」と云われた事が記憶に残っています。今の社会には多様な価値観が混在しています。私達の文化活動も常に変化する社会の息吹を感じて成長して行くと共に、多くの若い人達が私達の文化活動に魅力を感じて参加するような活動方法や内容とする事に視点を置くことが必要と思われまます。会報発行にあたり寄稿頂いた方々に心から御礼申し上げます。

吉田 正夫